

令和7年度

事業報告書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)



社会福祉法人 美和会

目 次

本部事業報告編

1 事業の現況	1
2 役職及び職員状況	1
(1) 理事及び監事	1
(2) 評議員	1
(3) 職員構成	2
3 役員会の開催状況	3
(1) 理事会	3
(2) 評議員会	4
(3) 監査	4
4 組織運営の概要	5
運営の総括	5
5 ボランティア・実習生受け入れ	8
(1) ボランティア受入れ状況等	8
(2) 小中学校受入れ状況	8
(3) 慰問等来訪者	8
(4) 実習生受け入れ	8
6 役員・職員の研修状況	8
(1) 役員（理事・監事）	8
(2) 施設長の研修参加状況	8
(3) 法人施設内定期職員研修	9
(4) 美和会オンライン（ジョブメドレーアカデミー）研修	10
7 施設整備実施状況	11
(1) 養護老人ホーム喜楽園拠点会計	11
(2) 特別養護老人ホーム喜楽園拠点会計	11
8 電気エネルギー使用状況	12
9 避難訓練実施状況	12
10 職員全体数	13

事業別実施報告編

I 措置（委託）事業	14
1 養護老人ホーム喜楽園	14
2 生活管理指導短期宿泊事業（生活指導型ショートステイ）	17
3 配食サービス事業	17
II 介護保険事業	18
1 特別養護老人ホーム喜楽園	18
2 デイサービスセンタースマイル	25
3 ヘルパーステーションスマイル	29
4 喜楽園居宅介護支援事業所	31
5 給食提供事業（栄養課）活動報告	34

本部事業報告編

1 事業の現況

(1) 事業の概要

事業区分	事業名	事業開始年月日	定員
第1種社会福祉事業	養護老人ホーム喜楽園	昭和43年10月1日	50名
	特別養護老人ホーム喜楽園	昭和58年4月1日	60名
第2種社会福祉事業	デイサービスセンター スマイル	平成元年2月1日	25名
	ヘルパーステーション スマイル	平成12年4月1日	—
	喜楽園居宅介護支援事業所	平成12年4月1日	—
	喜楽園ショートステイ（空床利用型のみ）	平成12年4月1日	—
公益事業	配食サービス事業	平成12年4月1日	—

2 役職及び職員状況

(1) 理事及び監事 (任期：令和7年6月18日～令和9年6月定時評議員会終結時)

役職	氏名	備考
理事長	児玉 勇	6/18 再任
理事	森田 和利	6/18 再任
理事	竹河 興一郎	6/18 再任
理事	柚木 隆憲	6/18 再任
理事	永岡 稔彦	古原 伸史（令和7年6月18日まで）
理事	若林 玲子	佐々木 淑也（令和7年6月18日まで）
監事	佐々木 求	6/18 再任
監事	佐々木 雅啓	6/18 再任
合計	理事 6名 監事 2名	

(2) 評議員 (任期：令和7年6月18日～令和11年6月定時評議員会終結時)

役職	氏名	備考
評議員	久保 克吉	6/18 再任
評議員	坂田 芙美恵	6/18 再任
評議員	塚本 白枝	6/18 再任
評議員	富田 正則	6/18 再任
評議員	松茂 史子	6/18 再任
評議員	栗矢 秀樹	6/18 再任
評議員	行原 雅典	6/18 再任
合計	7名	

(3) 職員構成

(令和7年10月1日現在)

養護老人ホーム 喜楽園			
職 名	職種別職員定数	前年比較	備 考
施設長	1名	—	特別養護老人ホーム施設長兼務
事務長	1名	—	養護老人ホーム施設長兼務
事務員	1名	—	
管理者	1名	—	介護部長兼務
課 長	1名	—	課長 生活相談員 / 計画担当者兼務
計画作成担当者	1名	—	主任 生活相談員/ 計画担当者兼務
支援員・介護員	6名	△1名	主任支援員1名
看護師	1名	—	看護課長兼務
栄養士	1名	—	主任栄養士
調理員	2名	—	(パート職員1名) 食器洗浄4名は含まず

特別養護老人ホーム 喜楽園			
職 名	職種別職員定数	前年比較	備 考
施設長	1名	—	養護老人ホーム施設長兼務
事務長	1名	—	
管理者	1名	—	介護部長兼務
課長	1名	—	生活相談員兼務
事務員	2名	—	主任1名
相談員	2名	—	生活相談員 / 介護支援専門員兼務
介護支援専門員	2名	△1名	相談員1名・介護員1名 兼務
介護員	19名	—	主任2名, 副主任1名 (パート職員4名)
看護師	5名	—	副主任1名 (契約職員2名)
機能訓練指導員	2名	—	理学療法士1名・言語聴覚士1名
栄養士	1名	—	課長 (管理栄養士) 1名
調理員	4名	1名	(パート職員3名)
清掃業務	2名	△1名	(パート職員)
営繕業務	1名	—	(パート職員)
食事介助	4名	△1名	(パート職員)
介護サポーター	2名	2名	(パート職員)

デイサービスセンター スマイル			
職 名	職種別職員定数	前年比較	備 考
管理者	1名	—	介護部長兼務
課 長	1名	—	相談員兼務
相談員	2名	—	主任生活相談員1名, 課長兼務1名
介護員	5名	—	相談員兼務1名, パート職員1名
看護師	1名	—	
送迎運転手	—	△1名	

喜楽園居宅介護支援事業所			
職 名	職種別職員定数	前年比較	備 考
管理者	1名	—	課長兼務
課 長	1名	—	サービス管理責任者、主任ケアマネ兼務
課長補佐	1名	—	介護支援専門員
介護支援専門員	1名	—	

ヘルパーステーション スマイル			
職 名	職種別職員定数	前年比較	備 考
管理者	1名	—	介護部長 1名
課 長	—	—	
ヘルパー（常勤）	1名	—	サービス提供責任者兼務
ヘルパー（登録）	7名	—	（非常勤職員 7名）

喜楽園配食サービス			
職 名	職種別職員定数	前年比較	備 考
配送員	2名	—	（非常勤職員 2名）

3 役員会の開催状況

（1）理事会

開催年月日	出席数	議 題
第1回 令和7年4月23日	理事 6名 監事 2名	1 評議員候補者の推薦について 2 評議員選任・解任委員会委員の選任について 3 評議員選任・解任委員会の招集について
第2回 令和7年5月28日	理事 5名 監事 2名	1 令和6年度 事業報告の承認について 2 令和6年度の計算書類等及び財産目録の承認について 3 給与規程の一部改正について 4 社会福祉法人理事・監事の推薦について 5 定時評議員会の招集について 6 その他（積立金運用について）
第3回 令和7年6月18日	理事 6名 監事 2名	1 理事長の選定について 2 第三者委員の選任の件 3 その他報告事項（理事長職務執行状況ほか）
第4回 令和7年9月11日	理事 6名 監事 2名	1 報告事項（理事長職務執行状況ほか）
第5回 令和7年12月17日	理事 6名 監事 2名	1 令和7年度第1回収支補正予算（案）の承認について 2 第1回臨時評議員会の招集について 3 その他報告事項（理事長業務執行状況ほか）

第6回 令和8年3月19日	理事 6名 監事 2名	1 令和7年度 第2回収支補正予算（案）の承認について 2 令和8年度 事業計画（案）の承認について 3 令和8年度 当初収支予算（案）の承認について 4 経理規程の一部改正について 5 第2回 臨時評議員会の招集について 6 その他報告事項（理事長職務執行状況ほか）
------------------	----------------	---

(2) 評議員会

開催年月日	出席数	議 題
令和7年6月18日	評議員 6名 監事 1名	1 令和6年度事業報告及び令和6年度の計算書類等並びに財産目録の承認について 2 社会福祉法人美和会 理事6名の任期満了に伴う選任について 3 社会福祉法人美和会 監事2名の任期満了に伴う選任について
令和7年12月26日	評議員 6名 監事 1名	1 令和7年度 第1回収支補正予算（案）の承認について 2 報告事項（外国人技能実習生受入れ状況）
令和8年3月27日	評議員 6名 監事 1名	1 令和7年度 第2回収支補正予算（案）の承認について 2 令和8年度 事業計画（案）の承認について 3 令和8年度 当初収支予算（案）の承認について

(3) 監査

ア 法人監事による監査の実施

実施年月日	実 施 内 容
令和7年5月20日	令和6年度事業報告書及び令和6年度決算書、利用者預り金など

イ 所轄庁による指導監査・調査の実施

実施機関	内 容	
三次市長 (社会福祉課)	指導監査日	なし
	指導監査対象	なし
	指 摘 事 項	なし
三次市長 (高齢者福祉課)	指導監査日	なし
	指導監査対象	なし
	指 摘 事 項	なし

4 組織運営の概要

運営の総括

施設運営の基本は、ご利用者本位のサービスに努めるという基本理念のもと、利用者一人ひとりの尊厳を守り、健康で安らかな生活を送れる施設づくりを目指すとともに、在宅サービス部門においては、地域の高齢者人口減少を背景に新規利用者が減少しつつある中で、全事業部署がより一層連携を密にすることで、特養との日々の空床のショートステイ利用調整をはじめ、デイサービスでの在宅利用と養護利用との利用バランス等も考慮しながら利用者一人ひとり状況を的確に把握し、適切なサービス提供と稼働率向上に努めてまいりました。

令和7年度は3年に一度の介護報酬改定の間年当たり、基本報酬の単価の改定はありませんでしたが、一方では、依然として物価やエネルギー価格、人件費等のさらなる高騰により、食材費や業務委託費等の関連経費が膨らみ、支出経費額を大きく押し上げています。

こうした激変する社会情勢のなか、経営収支の特徴としては、「事業活動収支区分」での介護保険事業収入額が在宅部門の稼働率低下を要因に昨年度を下回っているものの、大口寄附金（21,640千円）という臨時収入があったことで、事業活動収入総額は507,570千円（昨年度比17,349千円増）を確保し、事業活動支出総額では、事業費・事務費に係る経費増加により、461,247千円（昨年度比5,213千円増）となった結果、収支差額（収益）は、46,323千円となり昨年度を大きく上回る増益となりました。

その結果、「施設整備等による収支差額」及び「その他の活動による収支差額」を含めた当期資金収支差額（収益）合計では29,167千円でした。寄附金収入を除いても4期連続で黒字決算を維持することができました。

また、人材確保の面においては、今後の更なる人口減少に対策するため、初めての外国人介護人材（技能実習生2名）を受け入れしました。来年度以降も外国人介護人材の増員も視野に、介護・看護等専門職の中途採用者の確保に努め、将来とも安心安全なサービス提供していくための持続可能な施設経営に努めてまいります。

（1）施設の透明性の確保（情報公開）

取り組み	成 果
美和会ホームページによる 情報公開	☆ 現況報告書、貸借対照表及び収支計算書等法人経営状況の情報公開
	☆ 新着情報欄に「お知らせ」コーナーを開設し、施設訪問状況や一日縁日、敬老祝賀会等行事の写真を掲載し家族や地域への情報提供に努めました。3月末で10年ぶりにホームページデザインをリニューアルし、新着情報コーナー等の充実を図りました。
	☆ 職員採用に関する情報提供
	☆ 「喜楽園だより」HP公開
	☆ 年間 HP アクセス 105,560 件（前年 54,296 件）・289.2 件/日

広報紙の発行	☆ 喜樂園だより 第32号 (令和7年4月発行) ☆ 喜樂園だより 第33号 (令和7年7月発行) ☆ 喜樂園だより 第34号 (令和7年10月発行) ☆ 喜樂園だより 第35号 (令和8年1月発行)
家族会交流会の実施	☆ 家族会イベント(神楽講演)計画との日程調整が合わず、集合型総会開催を断念。総会議事(収支報告・役員改選ほか)については、書面議決により承認を得ました。

(2) 組織力アップの対策

取り組み	成 果
“定例管理職・主任運営会議”の開催(1回/月)	☆ 組織的運営方針の統一化による各職場への周知徹底
	☆ 職務責任の明確化と各部署連携強化
	☆ 経営的視点を持った職場改善への問題意識を共有
職員行動宣言の周知・徹底	☆ 職場単位の朝礼において、美和会基本理念及び職員行動宣言の唱和が定着し、組織の一員としての自覚が高まっている。

(3) 人材育成のためのキャリアパス・人事処遇制度

取り組み	成 果
人事処遇制度の運用	人材育成型評価制度の実施 ☆ 評価者 ①本人 ②上司 ☆評価体系 ①行動能力評価 ②職業能力評価 ③目標取組評価 ☆評価時期 第前期: 4月1日～9月30日 (49名実施) 第後期: 10月1日～3月31日 (43名実施) 評価制度の体系 ①行動能力評価 組織人として求められる行動や基本業務の遂行能力 50点満点 ②職業能力評価 職種ごとに求められる職業能力 30点満点 ③目標取組評価 2つの目標を評価期間ごとに設定し、上司と本人との話し合いに基づき評価 20点満点

キャリアパス支援制度の運用

(1) キャリアパス支援のための研修等機会の充実

☆ 令和7年度 施設外研修参加状況（オンライン研修含む）

受講件数 24件 参加人数 26名

〈受講内訳〉

研修区分	件数	参加人数	研修区分	件数	参加人数
安全運転管理者研修	1	1	中堅・リーダーシップ養成	3	4
人権擁護・成年後見	2	2	組織運営セミナー	1	1
介護技術に関する研修	1	1	雇用労働関係講習	1	1
報酬改定等事務	1	4	衛生管理者研修	1	1
ケアマネ専門研修	6	6	その他（外国人人材等）	7	8

(2) 専門職資格新規取得状況

☆ 介護福祉士（国家資格）合格者 2名

(3) 人材定着率の推移

令和7年度実績値 離職率 14.7% ↑ 前年度比較 8.8%増

〈内訳〉

職 種	中途離職者数	離職率の算定
介護職（正職員）	2名	雇用保険加入者数 68名 10名／68名×100＝14.7% ※R6年度 離職者4名
介護職（契約職員）	1名	
栄養・調理職（正職員）	3名	
調理職（契約職員）	4名	
計	10名	

(4) 人員確保対策

取り組み	成 果																				
積極的な募集情報の発信と職員紹介者制度の活用	ハローワークや求人サイト等を活用し、最新募集情報の更新に努めました。 厳しい雇用環境の中にあっても、ハローワーク等を通じて実務経験のある介護職 3 名・調理職（パート）1 名、知人紹介では事務職 1 名、調理職（パート）1 名を採用しました。 令和 7 年度職員採用実績（定着者のみ） <table><tr><th>区分</th><th>正規職員</th><th>契約職員 （パート含む）</th><th>定年再雇用 適用</th></tr><tr><td>事務職</td><td>1 名</td><td></td><td>該当者なし</td></tr><tr><td>介護職</td><td>3 名</td><td></td><td>該当者なし</td></tr><tr><td>調理職</td><td></td><td>2 名</td><td>該当者なし</td></tr><tr><td>計</td><td>4 名</td><td>2 名</td><td></td></tr></table>	区分	正規職員	契約職員 （パート含む）	定年再雇用 適用	事務職	1 名		該当者なし	介護職	3 名		該当者なし	調理職		2 名	該当者なし	計	4 名	2 名	
区分	正規職員	契約職員 （パート含む）	定年再雇用 適用																		
事務職	1 名		該当者なし																		
介護職	3 名		該当者なし																		
調理職		2 名	該当者なし																		
計	4 名	2 名																			



みわ元気まつり会場にて
美和会バザーで職場 PR

魅力ある福祉・介護の職場宣言 ～ひろしま～	令和7年度も広島県福祉・人材確保等総合支援協議会「スタンダード認証法人」の認証を受け、業界全体での広範なイメージ改善・普及に努めました。
--------------------------	--

5 ボランティア・実習生受け入れ

(1) 小中学校受入れ状況

月 日	学 校 名	人数	内 容
6月17日 ～6月19日	三和中学校2年生	2名	職場体験学習（養護・特養・デイ）
3月10日	三和小学校5年生	10名	ボッチャ（ジャックボール）ゲームによる交流

(2) 慰問等来訪者

月 日	来 訪 者 名	人数	内 容
4月14日	風 人 様	5名	オカリナ演奏
5月18日	まこふうせん 様	2名	歌とギター演奏
8月3日	夢前案内人 様	5名	歌とバンド演奏
9月14日	三次芸能クラブ 様	24名	敬老会祝賀訪問（踊り・民謡ほか）

(3) 実習生受入れ状況

研修期間	学校・機関名	科 目 名	実習内容	人数
—	—	—	—	—

6 役員・職員の研修状況

(1) 役員（理事・監事）

研修月日	研修会名・講座名	主 催	場 所
1月9日 ～2月23日	社会福祉法人理事長研修	広島県社協 (オンライン動画)	自宅（1名）

(2) 施設長の研修参加状況

研修月日	研修会名・講座名	主 催	場 所
5月29日	施設長研修「我慢しない、介護現場のトラブル対応」 ～管理者として職員を守るために～	広島県老人福祉施設連盟	シェラトングランドホテル広島

9月12日	第17回 NAGOMi フォーラム in 広島 『育成就労制度の概要』	NGOMi 中国ブロック 協会	ホテルグランビア 広島
12月16日	施設長研修「今日から始める高齢者施設の防災」 ～備え・防災を施設の日常とライフスタイルに～	広島県老人福祉施設連盟	シェラトングラン ドホテル広島
3月5日	養護老人ホーム部会&施設長研修 「生産性向上の必要性・取り組み手法」	広島県老人福祉施設連盟	広島県社協会館
3月23日	施設長研修 「介護報酬の改定、新たな経済対策（補正予算）等の動向と中央情勢について」	広島県老人福祉施設連盟	シェラトングラン ドホテル広島

(3) 法人施設内定期職員研修

日 程	研修会名・講座名	参加人数	備考（講師等）
5月20日	外国人技能実習生受入前職員研修 ～外国人受入れの不安解消のために～	32名	施設長
6月17日	感染予防及びまん延防止のための研修	21名	感染対策委員会
8月18日	三次ブロック研究発表会 美和会予選会(1) 居宅『三和町で生活するには』～介護が必要になった時～ デイサービス『問題解決への取り組み』 養護喜楽園『居室替えて施設生活を満喫中！』～利用者の変化で学んだこと～	31名	各部署研究発表チーム
9月16日	身体拘束適正化について	20名	身体拘束適正化委員会
10月21日	事故防止のための研修 BCP（業務継続計画）感染症対策研修 ～作りっぱなしのBCPにしないために～	28名	事故防止委員会 感染対策委員会（土井部長）
11月25日	介護基礎技術向上研修 『テーマ：排泄』	24名	一般社団法人 広島県介護福祉士会講師
12月19日	救急救命講習会 AED 実技講習	22名	備北消防組合 三和出張所職員
合 計	実施回数 7回	178名	平均参加率 39%



(6月 感染症予防研修会)



(10月 BCP 感染症研修会)



(11月 介護技術基礎研修会)

(4) 美和会オンライン（ジョブメドレーアカデミー）研修

法定研修

研 修 名	動画本数	合計時間（分）	受講期間	受講完了者
介護現場で気をつけたいプライバシー保護	6	33 : 01	4/1～4/30	49/49
緊急時の対応に関する研修	5	29 : 20	5/1～5/31	49/49
事故発生又は再発防止に関する研修	7	32 : 50	6/1～6/30	49/49
感染症及び災害に係る業務継続計画のための研修 （感染症）	5	29 : 26	7/1～7/31	49/49
身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修	8	36 : 46	8/1～8/30	48/49
倫理及び法令遵守に関する研修	7	31 : 30	9/1～9/30	47/48
接遇に関する研修	6	35 : 13	10/1～10/31	46/47
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	6	34 : 56	11/1～11/30	45/47
認知症及び認知症ケアに関する研修	8	36 : 14	12/1～12/31	45/47
ハラスメントに関する研修	7	31 : 15	1/1～1/31	45/47
介護予防及び要介護度進行予防に関する研修	7	28 : 31	2/1～2/28	45/48
感染症及び災害に係る業務継続計画のための研修 （自然災害）	7	31 : 40	3/1～3/31	46/47
合 計	79	06 : 30 : 42	12 ヶ月	受講率97.7%

管理職研修

研 修 名	動画本数	合計時間（分）	受講期間	受講完了者
労務管理研修① ～労務管理とは～	7	35 : 10	4/1～5/31	8/8
労務管理研修②～就業規則・ハラスメント～	6	32 : 50	6/1～7/31	8/8
労務管理研修③～賃金・人材・健康～	7	38 : 03	8/1～9/30	8/8
経営者向けトップマネジメント研修① ～人～	7	37 : 32	10/1～10/31	8/8
経営者向けトップマネジメント研修② ～モノ・情報～	6	34 : 59	11/1～11/30	8/8
経営者向けトップマネジメント研修③ ～お金・コンプライアンス～	7	34 : 05	12/1～12/31	8/8
経営者向けトップマネジメント研修④ ～リスクマネジメント・経営～	5	26 : 17	1/1～1/31	8/8
管理職の不安を業界リーダーが徹底解決！① ～リーダーシップとは～	4	35 : 52	2/1～2/28	8/8
管理職の不安を業界リーダーが徹底解決！① ～採用・チーム強化～	4	35 : 59	3/1～3/31	8/8
合 計	53	5 : 10 : 47	12 ヶ月	受講率 100%

7 施設整備及び主要な修繕実施状況

(合計 5,373,218 円)

(1) 養護老人ホーム拠点会計

工 事 内 容	総事業費	実施事業者	備 考
ボイラー室漏水修繕	286,198 円	ネポン(株)	
ガス給湯器修繕	165,000 円	(有)ユノカワ	
大型洗濯機修繕	65,890 円	(株)アサヒ製作所	
大型洗濯機修繕	60,390 円	(株)アサヒ製作所	
厨房天井裏配管漏水修繕	88,000 円	(有)ユノカワ	
ボイラー室漏水修繕	561,000 円	八洲電機(株)	
誘導灯修繕	74,250 円	(有)谷川石油店	
温泉システムメンテナンス	61,000 円	(株)オオサキ	
循環風呂ストレーナー弁修繕	53,141 円	(株)オオサキ	
合 計	1,414,869 円		

(2) 特別養護老人ホーム拠点会計

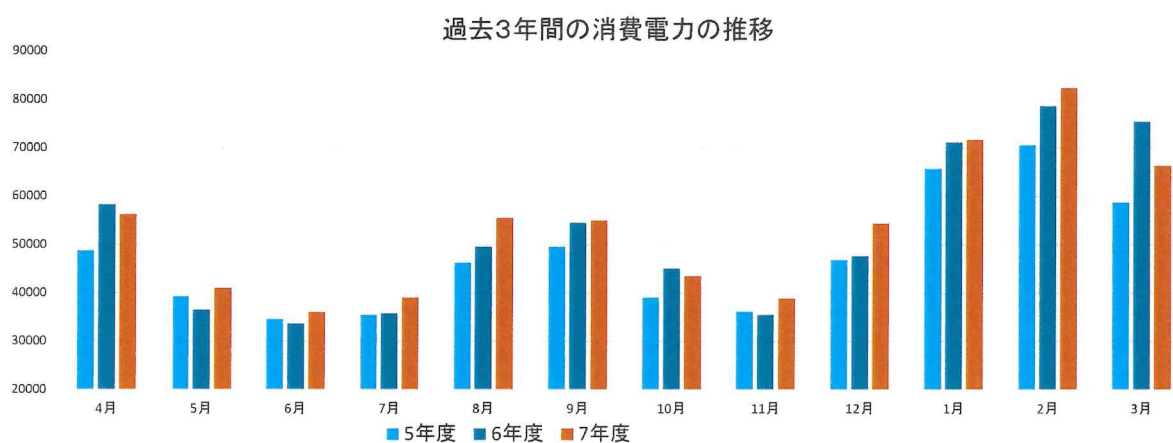
工 事 内 容	総事業費	実施事業者	備 考
國岡邸水栓等修繕工事	364,000 円	(有)ユノカワ	技能実習生宿舍
駐輪場新設工事	275,000 円	(有)ユノカワ	
配管ヒータ巻き工事	99,000 円	(有)ユノカワ	
電動ベッドキャスター修繕	307,604 円	深川医療器(株)	
旧特養跡地真砂土敷き均し工事	517,000 円	(有)ユノカワ	
屋外ガス給湯器配管漏水修繕	79,200 円	(有)ユノカワ	
大型洗濯機修繕	79,530 円	(株)アサヒ製作所	
エアコン室外機防雪フード設置	60,500 円	(株)ちゅうせき	
ベッド修繕	112,068 円	深川医療器(株)	
大型乾燥機修繕	52,470 円	(株)アサヒ製作所	
幹線 LAN ケーブル配線工事	176,000 円	(株)チュウセツシステム	
非常用発電機建屋柱修繕	220,000 円	(有)ユノカワ	
合 計	2,342,372 円		

(3) 養護老人ホーム拠点会計・特別養護老人ホーム拠点会計 (両会計から支出)

工 事 内 容	総事業費	実施事業者	備 考
喜楽園入口野立て看板改修工事	783,200 円	(有)ユニオン企画	
スプリンクラー漏水修繕	627,000 円	(有)ユノカワ	
厨房再加熱ユニット修繕	50,820 円	ホシザキ中国(株)	
厨房電解水生成装置修繕	154,957 円	ホシザキ中国(株)	
合 計	1,615,977 円		

8 電力エネルギー使用状況

施設区分	令和7年度	
	使用量	使用料
施 設	639,843 kwh (前年度比 2.9%増)	16,166,470 円 (前年度比 129,592 円 0.8%増)
水道ほか (水中ポンプ)	15,551 m ³ (42.6 m ³ /日 14.0%増)	1,300,507 円 (前年度比 71,272 円 5.8%増)



9 避難訓練実施状況

実施年月日	実 施 内 容	実 施 体 制
6 月 25 日	総合訓練 (昼間火災想定 初期消火, 通報, 避難誘導)	職員, 入所者, デイ通所者
12 月 3 日	総合訓練 (夜間火災想定 初期消火, 通報, 避難誘導)	職員, 入所者

10 職員全体数（令和8年4月1日現在）

（単位 人）

職 種	正 職	契約（日額）	パート	登録	合 計
施設長	1				1
部長職・事務職	5		1 (1)		6 (1)
ケアマネ・介護員・看護員	38 (0)	5 (1)	13 (0)		56 (1)
栄養士・調理員	5 (0)	2 (1)	7 (4)		14 (5)
ヘルパー	1		1 (1)	5 (△2)	7 (△1)
清掃		2 (0)			2 (0)
配送・運転			2 (△1)		2 (△1)
合 計	50 (0)	9 (2)	24 (5)	5 (△2)	88 (5)

※（ ）は、令和7年4月1日からの人数変動

事業別実施報告編

I 措置（受託）事業

1 養護老人ホーム喜楽園・ケアホーム喜楽園（定員 50 名）

今年度は、施設内外行事や地域交流などに取り組み、個別支援計画に基づく入所者中心のサービスに心掛け、自立した生活維持の支援とともに、施設の安定運営のために居宅介護支援事業所との連携により、入所者の死亡や特養への入所替え等の発生状況を事前に情報共有することで、空室発生した時点からできるだけ短期間での入所調整に取り組んだ結果、年間入所率が 99%と目標数値を 3.5%上回ることができました。

(1) 人員の状況

(単位：人)

R6年度末 入所者数	R7年度中の異動								R7年度 入所率
	退所	男	女	計	入所	男	女	計	
49 人	死亡		1	1	三次市から	3	4	7	99% (月初日)
	病院への長期入院		1	1	庄原市から				
	在宅復帰		1	1	広島市から				
	その他（他施設へ）	1	4	5					3月末 48人
	合計	1	7	8	合計	3	4	7	

(2) 平均年齢（令和8年3月31日現在）

(単位：人・歳)

性別	人員	平均年齢	備 考
男	14 人	86 歳	70 歳 ～ 98 歳
女	34 人	87 歳	67 歳 ～ 96 歳
合計	48 人	87 歳	

(3) 要介護度等認定済みの人員（令和8年3月31日現在）

(単位：人・%)

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
人 員	3 (3)	1 (4)	15 (10)	8 (11)	6 (6)	3 (4)	1 (0)	37 (38)	1.82 (1.59)
入所者に占める割合	8% (8%)	3% (11%)	40% (26%)	22% (29%)	16% (16%)	8% (10%)	3% (0%)	100% (100%)	

※カッコ内はR6年度末日

※平均要介護は要介護者の平均

(4) 措置機関別入所者内訳（令和8年3月31日現在）

(単位：人)

実施機関	男	女	合計
三 次 市	13 (6)	29 (18)	42 (24)
東 広 島 市	—	—	—
庄 原 市	—	4	4
三 原 市	—	—	—
広 島 市	1	1	2
合計	14 (6)	34 (18)	48 (24)

※カッコ内は、三和町内からの入所者数

(5) ケアホーム（外部サービス利用）利用状況

(単位： 人)

サービスの種類	年間実利用人数	年間利用延べ人数
デイサービス	252 (248)	2,148 (2,379)
訪問介護	401 (357)	1,803 (1,548)
福祉用具レンタル	23 (24)	226 (212)

※カッコ内は令和6年度

(6) 行事実施状況

4月	誕生会 講和 訪問理容 花見ドライブ 訪問：風人様（オカリナ演奏）
5月	お楽しみクッキング 誕生会 訪問理容 観音菩薩祭り 花田植え見学・ドライブ
6月	誕生会 講話 訪問理容 総合避難訓練 プロ野球観戦（三次きんさい球場）
7月	誕生会 講話 訪問理容 不在者投票（参議院議員通常選挙）町外ドライブ
8月	誕生会 訪問理容 合同盆踊り 物故者追悼法要 訪問販売 訪問：夢先案内人 技能実習生歓迎セレモニー
9月	誕生会 講話 敬老祝賀式・祝賀会 訪問理容
10月	誕生会 講話 訪問理容 新型コロナワクチン接種8回目 入所者胸部X-P みわ文化センター絵画鑑賞 西ノ神例大祭
11月	講話 訪問理容 移動ブティック 不在者投票（広島県知事選挙）訪問販売 下板木コミュニティセンター祭り
12月	誕生会（11月・12月合同） 訪問理容 クリスマス会 インフルエンザ予防接種 総合避難訓練 訪問：専正寺・仏教婦人会
1月	誕生会 講話 訪問理容
2月	誕生会 講話 訪問理容 節分（豆まき）不在者投票（衆議院議員通常選挙）
3月	誕生会 彼岸法要 訪問理容 避難訓練 訪問：三和小学校5年生施設交流会 訪問販売 花見ドライブ



(下板木コミセン祭り参加)



(三和小学生との交流会)



(節分行事)

(7) 活動報告（令和7年度運営目標に対する総括）

- ・ 市（福祉事務所）からの措置依頼通知を受けた後、直ちにご家族や関係機関と連絡調整を行い早期入所受入れに努めました。死亡者や介護度の重度化による特養への入所替えや長期入院等がありましたが、近年、入所待機者が減少している中においても、今年度では例年になく新規入所の依頼を受けたことから年間入所率（月初日）目標 95.5%を上回る 99%を達成することができました。
- ・ 感染予防に努めるとともに、外出、外泊の支援、施設内外行事、訪問受け入れ、家庭菜園、クッキング、リハビリ体操、花見ドライブ、移動ブティック、施設交流を実施し、ストレスの軽減や施設生活を楽しんでいただくことができました。
- ・ 外部サービスの利用では、前年度よりデイサービスの利用者数は 2%増えていますが、重度者の方が特養への入所になったことを要因に、収入面ではマイナスとなりました。また、生活援助の必要な利用者が増えていることを要因に、ヘルパー利用者数が 12%増加し、収入面もプラスとなりました。福祉用具のレンタルでは、自立支援としての歩行器や車いす、転倒防止のためのセンサーマットなどを利用されています。
- ・ 外部サービス利用は、介護認定を受けている方にとって、外部との交流を通じた楽しみや ADL の維持向上に対する効果が大きく、引き続き、課題の解決や有する能力の維持・向上に取組み、ご利用者の意向を尊重し利用を勧めていきたいと思います。

■ 内部研修会への参加状況

（単位 人）

月 日	研修内容	参加人数
5 月 20 日	・ 外国人技能実習生受け入れ前 美和会職員研修	5 人
6 月 17 日	・ 感染予防について	8 人
8 月 18 日	・ 三次ブロック研究発表会予選会 養護発表タイトル『居室替えて施設生活を満喫中』	8 人
9 月 16 日	・ 身体拘束の基礎知識	4 人
10 月 21 日	・ B C P 感染症について・各部署の事故報告と対策	7 人
11 月 25 日	・ 介護技術研修会（排泄）	6 人
12 月 19 日	・ A E D を使用した救命救急を学ぶ	6 人

■ 外部研修会への参加状況

（単位 人）

月 日	研修内容	参加人数
6 月 1 日～9 月 21 日	・ 介護福祉士実務者研修（会場：広島市） 合計 9 回受講	1 人
9 月 6 日	・ 成年後見制度講演会（会場：三次市）	1 名
9 月 26 日 11 月 26 日	・ 中堅・管理職職員合同研修会（会場：三次市）	1 名
11 月 11 日	・ 三次ブロック職員研究発表会 美和会代表（会場：三次市）	2 名
2 月 14 日	・ 令和 7 年度三次市市民後見人養成事業 第 3 回フォローアップ研修	1 名
3 月 5 日	・ 令和 7 年度養護老人ホーム部会研修会	2 名

2 生活管理指導短期宿泊事業（生活指導型ショートステイ）

三次市から委託を受け、社会適応が困難な介護保険の対象とならない高齢者に対して、空きベッドを活用し短期間の宿泊により日常生活に対する指導、支援を行うサービスですが、令和7年度は利用実績がありませんでした。

■ 年間利用実績

(単位：人)

利用実人数	利用延べ日数	備考
0 人 (0 人)	0 日 (0 日)	

※カッコ内は令和5年度

3 配食サービス事業

三次市からの委託を受け、食事の調理が困難な在宅者等を対象に自立した生活が送れるよう一人ひとりの健康状況等に応じた栄養管理のもと、安全・衛生的な配食サービスに心がけひとり暮らし高齢者等への生活支援と併せ安否確認を行いました。

令和7年度年間実績は、年間実利用者数22人（前年度28人）、1人当たりのサービス回数は1月あたり17.1回（前年度12.3回）となりました。

三和町では、65歳以上の高齢者が54%（前年度50%）（全国 29.5% 広島県 30.5%、三次市 38%）を占めている状況です。今後も高齢化が進む中で、地元になくはないサービスのため可能な限り支援継続を目指していきます。

月別利用実績（毎週/月曜日～金曜日：夕食のみ実施）

(単位：人・回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用人数	19	19	19	20	20	19	19	19	18	17	15	15	219 (247)	18.2 (20.5)
利用食数	350	362	353	374	343	368	385	319	319	278	252	278	3,753 (4,461)	312.7 (371)

※カッコ内は令和6年度

Ⅱ 介護保険事業

1 特別養護老人ホーム喜楽園（定員：60名）

入所者様の尊厳を重視した介護サービスの実現のため、利用者本位のサービスの理念に沿い、利用者様への尊敬の念と専門職としてのプロ意識を持って支援しました。

7年度では、特養施設内におい7月にコロナウイルス、1月にノロウイルス感染症が発生しました。

7月のコロナウイルス感染症では、症状の悪化に伴う入院が5名、その他での入院が2名、計7名の入院者があり、この期間中は、ショートステイ利用も中止したことにより稼働率が下がりました。

1月のノロウイルス感染症の期間中では、それに関連した入院者が4名、その他での入院者が1名ありましたが、ショートステイ利用中の方には、ご家族の了解を得て、受け入れを継続したこともあり、コロナの時ほど稼働率への影響は、大きくなりませんでした。今後は、感染症発生時であってもショートステイ利用を継続できるよう、また、重症化しないよう感染予防・対策に取り組んでいきます。

退所状況は、前年度と同様に医療的ケアの必要性から療養型病院へ移られるための退所が13名と一番多く、死亡による退所は5名で、内4名の方に看取りを行いました。平均年齢は91.1歳でした。

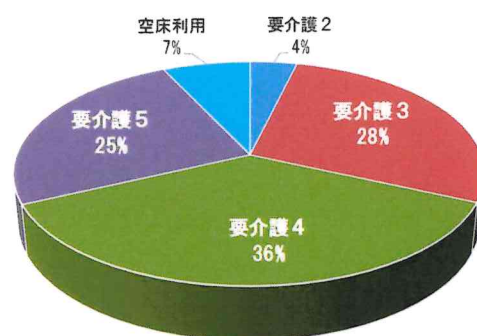
8月には2名の外国人技能実習生を受け入れ、実習プログラムに沿って指導を行い、半年後（2月）に行われた「技能実習評価試験」には、2名が無事合格できました。日本語・介護技術ともに向上されており、現在では特養の一員として活躍しています。また、地域のイベントや特養での食事会などへも積極的に参加され、交流を深めています。2年目更なる成長ができるようサポートしていきます。

（1）サービス利用実績

年間入所者の要介護度別推移

利用月	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	空床利用	合計	日平均	実人数	稼働率
4月	90	462	660	446	80	1,738	57.9	58	95.7%
5月	93	508	684	474	77	1,836	59.2	58	98.4%
6月	60	510	659	471	89	1,789	59.6	57	96.9%
7月	62	442	660	473	75	1,712	55.2	57	93.8%
8月	62	432	678	465	132	1,769	57.1	56	95.8%
9月	60	480	621	426	143	1,730	57.7	56	97.3%
10月	62	512	645	466	156	1,841	59.4	57	98.7%
11月	60	491	638	455	118	1,762	58.7	56	94.6%
12月	62	490	677	465	108	1,802	58.1	57	90.3%
1月	66	480	623	431	152	1,752	56.5	57	89.4%
2月	56	502	552	364	158	1,632	58.3	57	92.9%
3月	62	618	594	344	203	1,821	58.7	56	95.4%
合計	795	5,927	7,691	5,280	1,491	21,184	58.0	—	96.7%

要介護度別の入所者割合



平均稼働率 96.7%
(前年度 95.2%)

特別養護老人ホーム入所者の推移
(空床利用含む)



(2) 入退所の状況

(単位：人)

R6年度末 入所者数	R7年度中の異動								R7年度末 入所者数
	退所	男	女	計	入所	男	女	計	
56人	死亡うち ()内は看取り	1 (0)	4 (4)	5 (4)	在宅から	1	4	5	53人
	病院への長期入院	2	11	13	老健から	0	0	0	
	在宅復帰	0	0	0	病院から	4	0	4	
	その他	0	0	0	その他(養護等)	1	5	6	
	合計	3	15	18	合計	6	9	15	

(3) 平均年齢(令和8年3月31日現在)

(単位：人)

年 齢 (以上～未満)	男	女	計	備 考
70歳 ～ 79歳	1	2	3	最高年齢者 (男性) 96歳 (女性) 104歳
80歳 ～ 89歳	2	11	13	
90歳 ～ 99歳	6	26	32	
100歳以上	0	5	5	
合 計	9	44	53	
平 均	90.5歳	92.1歳	91.1歳	

(4) 要介護度別人員(令和8年3月31日現在)

(単位：人・%)

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均要介護度
人 員	0	2	20	20	11	53	3.8 (3.9)
入所者に 占める割合	0	4.0	38.0	38.0	20.0	100%	

※カッコ内は6年度末日

(5) 認知症高齢者の日常生活自立度別人員(令和8年3月31日現在)

(単位：人・%)

ランク	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	計
人 員	1	0	0	8	31	4	9	0	53
入所者に 占める割合	1.8	0	0	15.0	58.5	7.5	17.2	0	100%

(6) 障害高齢者の日常生活自立度別人員(令和8年3月31日現在)

(単位：人・%)

ランク	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	計
人 員	0	0	2	4	7	12	15	2	11	53
入所者に 占める割合	0	0	3.8	7.5	13.2	22.6	28.3	3.8	20.8	100%

(7) 出身別入所者内訳 (令和8年3月31日現在)

(単位:人)

実施機関	男	女	合計
三和町	8	34	42
三次市(三和町除く)	0	4	4
世羅町	0	2	2
安芸高田市	0	1	1
東広島市	0	1	1
三原市	1	0	1
広島市	0	2	2
合計	9	44	53

(8) 活動報告 (令和7年度運営目標に対する総括)

■ 相談援助業務の取組みと評価

待機者の状態確認や利用者退所後の速やかな入所ができるよう居宅介護支援事業所と情報共有し連携を図りました。7月、1月の感染症発生でショートステイ利用予定者のキャンセルや入院者もあり、空床が増え稼働率が下がりましたが、年間平均稼働率では、前年度を1.5%上回ることができました。7年度末では、長期利用者の人数が減っていますが、ショートステイ利用者数が増加していることでベッド稼働率の維持はできています。

日々多職種と連携して利用者様の健康状態を把握し、状態変化があった利用者のご家族への迅速な情報提供に取り組むことで、ご家族との信頼関係づくりに努めています。

外出の機会が少ない利用者の方の楽しみとして、4月にはお花見ドライブ、10月には秋のドライブを実施し、季節を感じて頂くことができました。7月の縁日行事は感染症発生のため中止になりましたが、企画・構成等話し合いを重ね準備したことは、今後の行事に活かしていきたいと思っています。

9月の敬老祝賀行事では、6家族10名の同席のもと、100歳以上4名・白寿2名・米寿3名の方が長寿の表彰を受けられました。また、体調を配慮し式典に参列できない方には、事前に記念写真を撮影させて頂きました。

■ 介護業務の取組みと評価

(感染委員会)

7月に発生したコロナ感染症は、前年の教訓を生かし迅速な隔離対応を実施したことで感染を拡大させることなく短期間で終息することができました。一方、1月のノロウイルス感染症の際には、発生当初の体調不良要因がつかめず、初期対応が不十分であったことから感染が拡大し、終息まで1ヶ月という長い時間を要しました。

その反省をもとにノロウイルスに関わらず、吐物の処理方法の徹底、消毒液の準備、保管等の見直しを行いました。8年度では、正しい知識と技術を職員全員が身につけ実施していけるよう研修に取り組むとともに、定期的な物品の点検と補充を行っていきます。

(拘縮・褥瘡防止委員会)

理学療法士(PT)・介護士・看護師が連携し、定期的にベッド臥床時や車椅子移乗時のポジショニングの見直しを行い、安定した姿勢の保持を検討するとともに、各利用者の状態に適したマットレスの選定を行い褥瘡・拘縮予防に努めました。また褥瘡発生時には他の委員会と連携し早期改善に努めました。褥瘡形成者には入浴時褥瘡部の写真撮影を行い、改善状況の継続的な共有を行いました。今後も「褥瘡入所者ゼロ」を目標に取り組んでいきます。

（事故防止・身体拘束・接遇委員会）

- ・表皮剥離が前年度1月時点で（37件）から7年度1月末時点（25件）に減少しています。

要因分析：前年と比べ職員一人ひとりが、7年度の課題として高齢者の皮膚が弱いことに対する認識はできていることがあげられます。目標件数を上回ってしまった要因としては、事故対策として決められた対応の継続実施が不徹底であったと考えられます。

・転倒件数が（20件）に対して（19件）でした。昨年同様にヒヤリハットの記入が増えたことで事故に至る前の予防対応につながりました。また、見守りカメラを活用し、事故後の検証と対策、評価を行うことで利用者一人ひとりのADL、事故状況がより明確化され、根拠のある対策が現場に還元できました。転落に関しては、昨年とほぼ同様の件数でした。

・今後の対策として見守りカメラの設置台数を追加し、新規、退院後の利用者に対しての情報収集を徹底し、それを他職員と情報共有することで入所初期の事故防止に努めます。事故後の早期対応と同様ケースの事故減少に努めます。さらに全体ミーティング等活用し、職員一人ひとりが決められた介助方法を正しく守れるよう危険意識の向上に努めます。

（食事委員会）

・「食事」の検討に関しては、PT（理学療法士）、ST（言語聴覚士）、看護と多職種連携を図り、色々な工夫を実践することができました。感染症発生時、食堂における飛沫感染リスク低減のため、座席配置の見直しと食堂内での換気、配膳、下膳後のテーブルの消毒を強化しました。

・できるだけ自力摂取を継続していただくため、食事形態の食べやすさを追求し、自助具の検討を行いました。また、介助員との連携も不可欠であり、伝達方法を改善し周知徹底を図りました。

・今後も「安全な食事摂取」を意識し、入所者の方の変化により早く気づき、対応を行えるように観察力を養うとともに多職種と連携、会議、ミーティングを設けることで迅速なサービス提供に取り組んでいきます。

（排泄委員会）

・利用者様の入所時、退院後の個々の排泄リズムに合わせたケアに注力しました。排泄状況の記録強化に努めたことで根拠のあるトイレ誘導、オムツのサイズの適正化、排泄パターンの見直しにつながりました。

・定期的な委員会の実施に努め、朝のミーティング時間を活用し、多職種と連携を図り統一した排泄介助に取り組みました。外部講師による研修会に参加し、新人職員、ベテラン職員の排泄介助技術向上に努めました。

・オムツ台車の整理整頓、設置場所の検討、トイレ誘導ボードをその都度更新することで、柔軟な排泄対応ができるようになりました。夜間等一人で安全にトイレ使用できるように、タッチアップを設置し、環境整備にも力を入れて取り組みました。また、在庫状況を把握できるよう注文記録表の見直しも行いました。

（入浴委員会）

・日々のミーティングを活用し多職種と連携を図ることで、入所者の状態に合わせた入浴順番の変更や個浴から機械浴への変更等がすみやかに実施できました。寒冷期には昨年同様給湯機の凍結により、入浴できない日があったことから凍結防止対策マニュアルを作成し、凍結予防に努めました。

・7年度は、入浴中事故としての表皮剥離の発生報告が多く上がりました。原因として利用者の方の水分補給不足や加齢に伴う皮膚乾燥、安全な移乗介助方法が十分ではなかったと考えられます。今後はスキンケア用品の見直し、移乗ボードの導入等、定期的な委員会の中で、事故防止委員会と連携し、より安全で安心な入浴サービス提供を目指します。

■ 看護業務の取組みと評価

- ・コロナウイルスが発症し、多職種と協力し早急にマニュアルに沿った感染対策を行い、拡大なく 12 日間で終息することができました。ノロウイルス発症時は、感染対策が不備であった為、感染拡大し長期化しました。その都度感染委員会を開き対策を検討し対応しました。日頃より危機管理を持ち、感染予防策の徹底ができるよう取り組みます
- ・6 年度は誤嚥性肺炎にて入院者が多かったため、7 年度の対策として体調変化に注意し、無理のない食事介助に努め、咽等に注意し口腔ケアに努めました。結果、誤嚥性肺炎の入院者は 3 名に減少しています。
- ・4 名の方に看取りをさせていただきました。多職種とご家族様の協力によりご家族様も納得され最後を迎えられました。
- ・誤薬予防に関しては、食事配膳時、介護職と協力し 2 名以上で名前の確認チェックを行い膳の中に入れる事で、誤薬はなくなりました。名前と本人確認の徹底に努めます。

■ リハビリ業務の取組みと評価

- ・リハビリの介入により ADL 低下を防ぎ、QOL の維持に努めました。疾患・感染症・気候の変化で日々体調・精神面の変化する中、利用者の方が生活しやすい環境作りを今後も検討して行きます。
- ・臥床時間が長い利用者に対して外気浴・歩行練習など行い離床時間の延長に努めました。介護員に対しては移乗のスライディングボード、スライディングシートの使用方法や・ポジショニング方法について適宜伝達と共有に努めました。
- ・ST（言語聴覚士）と情報共有を行い利用者それぞれに適した食事環境設定や自力摂取するためのポジショニング・食器の選定を行い、自力摂取を促すよう努めました
- ・利用者全体としては、現状の身体状況を維持できている方もいる一方、拘縮や認知機能の低下が進み、ADL・QOL の低下・介助量が増加される方もいます。多職種や各委員会と連携を図り、機能低下予防に取り組みます。

■ 行事実施報告

4 月	花見ドライブ・外気浴
5 月	日光浴
6 月	火災避難訓練（昼間想定）
7 月	縁日（感染症発生のため中止）
8 月	盆踊り
9 月	敬老祝賀式
10 月	入所者胸部レントゲン健診、ハロウィン、新型コロナワクチン接種
11 月	秋のドライブ
12 月	クリスマス会、火災避難訓練（夜間想定）インフルエンザ予防接種
1 月	正月飾りつけ・書初め
2 月	節分
3 月	ひな祭り



■職員会議・委員会の開催状況

月 日	会議名	内 容	参加人数
① 5月20日 ② 6月17日 ③ 8月18日 ④ 9月16日 ⑤ 10月21日 ⑥ 11月25日 ⑦ 12月19日	職員研修会	① 外国人技能実習生受け入れ前（7名） ② 感染症予防について（5名） ③ 三次ブロック研究発表会美和会予選会（7名） ④ 身体拘束の基礎知識（7人） ⑤ BCP 感染症について・各部署の事故報告と対策（9名） ⑥ 介護技術研修会（排泄）（7人） ⑦ AEDを使用した救命救急を学ぶ（4人）	46名
随時（12回/年）	食事委員会	個別嚥下機能状態、食事形態・環境の検討	6名 / 回
随時（12回/年）	排泄委員会	感染症対策のおむつ交換の検討、適切なパットの検討、トイレ誘導時定時陰部洗浄	3名/ 回
随時（12回/年）	入浴委員会	入浴介助全般の検討	4名/ 回
随時（12回/年）	拘縮・褥瘡委員会	拘縮・褥瘡マネジメント	4名/ 回
随時（12回/年）	感染委員会	感染症対策について	4名/ 回
随時（12回/年）	介護事故・身体拘束・接遇委員会	介護事故に係る再発防止検討会、身体拘束の適正化に伴う検討会	4名/ 回
2回/年	入所検討委員会	入所待機者の順位決定	延べ11名
随時9回/年	情報共有会議	特養申込者の情報共有	延べ49名

■内部研修会への参加状況

月 日	研修内容	参加人数
7月1日～ 9月31日	看取り研修（各自ネット配信研修）	20名
6月・12月	口腔衛生歯科講習	17名
2月・3月	高齢者虐待防止研修	23名

■外部研修会への参加状況

月 日	研修内容	参加人数
4月16日	外国人実習生受け入れ事前施設見学（安芸高田市）	4名
5月26日	第2種衛生管理士受験対策講習（福山市）	1名
6月 1日	介護テクノロジー体験・研修会（広島市）	1名
7月 1日	外国人実習生受け入れ事前施設見学（東広島市）	2名

7月23日	外国人実習制度における養成講習（広島市）	2名
7月30日	広島県外国人介護人材協議会総会（広島市）	1名
10月30日	中堅管理職合同研修会Ⅱ 第1回（三次市）	1名
12月2日	中堅管理職合同研修会Ⅱ 第2回（三次市）	1名
令和8年1月23日	外国人受け入れ支援セミナー（広島市）	1名

2 デイサービスセンター スマイル (定員 25名)

利用者様一人ひとりの個性や人間性を尊重し、意欲や笑顔を引き出すことができる心身機能の維持・改善プログラムの強化に努めてまいりました。また、利用者様の住み慣れた環境で自立した生活を継続できる様、さらには介護者様の介護負担軽減を図るため、追加利用を含めた入浴、食事、レクリエーション等のサービスの提供に努めました。

(1) 月別の利用実績

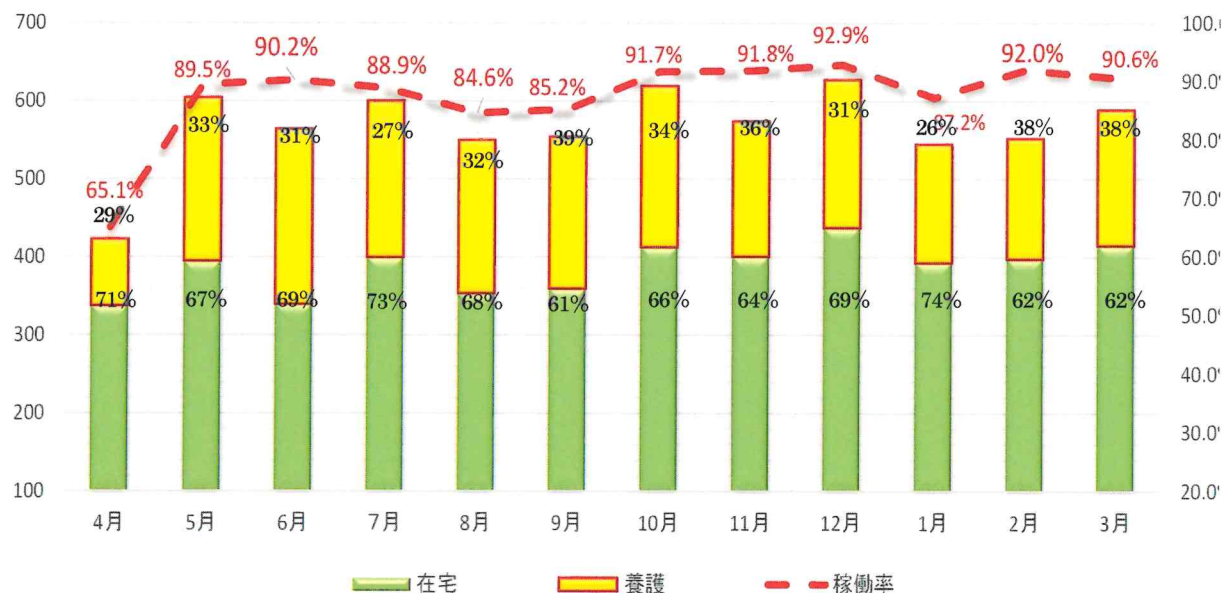
(単位：人)

利用月	1号通所介護	通所介護	計	稼働日数	稼働率 (%)	利用者 実人数
	要支援1～要支援2	要介護1～要介護5	利用者数			
4月	41	382	423	26	65.1	59(18)
5月	45	559	604	27	89.5	59(18)
6月	41	523	564	25	90.2	59(19)
7月	44	556	600	27	88.9	59(19)
8月	38	512	550	26	84.6	58(18)
9月	32	522	554	26	85.2	59(18)
10月	44	575	619	27	91.7	62(18)
11月	38	536	574	25	91.8	63(17)
12月	51	576	627	27	92.9	62(16)
1月	39	506	545	25	87.2	59(15)
2月	28	524	552	24	92	60(14)
3月	27	562	589	26	90.6	57(14)
合計	468	6,333	6801	311	—	716
平均	39	627.8	566.8	25.9	87.5	59.7

()内数値は介護利用者数

デイサービスセンター利用者の推移

延べ利用者数
人/月



デイサービス（定員 25 名）の年間延利用者数は、6,333 人（昨年 7,226 人）↓、運営日数 311 日（昨年 310 日）↑、1 日当たり平均 21.8 人（昨年 23.3 人）↓と前年度の利用実績を下回りました。利用者（養護を含む）や家族、また関係者にコロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス感染症が発生し（4 月・12 月・1 月・3 月）縮小営業となりました。

稼働率向上を目指し、居宅事業所・養護施設との連携により追加利用等の受入れに努めましたが、感染症の影響や登録者の長期入院やショートステイ利用、利用回数の多い介護度が重度の方の施設入所の影響も大きく、昨年度の稼働率 93.2%には及ばず、最終的には前年度を 6.1%下回る 87.5%でした。

（2）曜日別登録者数・利用者数（令和 8 年 3 月分/日平均）（単位：人）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
登録者数	25 名	23 名	25 名	25 名	25 名	25 名
利用者数	23.6 名	22 名	22.4 名	23.8 名	23.5 名	23.3 名

（3）活動報告（令和 7 年度 運営目標に対する総括）

- ・ 日別で登録人数を管理しておりますが、ショートステイ利用、入退院による不定期な利用変更、特別養護入所等により利用定員に届かない曜日が増えているため、利用回数増による自己負担額の増額にも配慮しながら、積極的な追加利用の受け入れや利用曜日等の調整に取り組みました。また、インフルエンザや新型コロナ等の感染発症により止む無く利用制限を実施せざるを得ない時期もありましたが、縮小営業での対応により、営業休止までには至らず乗り切ることが出来ました。しかし、この感染症の影響が、前年度の稼働率を上回ることができなかった要因の一つにもなりました。
- ・ ご利用者様と個別に関わり、ご利用者様にマッチした活動の提供（手芸、脳トレプリント、将棋、散歩など）に努めました。毎月、壁画制作に取り組みました。花紙を利用し小さく丸め、版画の要領で貼り付け作成しました。利用者の身体状況に応じた作業を分担し、全員参加型の作業で一つの作品を完成していくことで、全員の方が達成感を得られる様に職員発案で取り組みました。
- ・ 各関係機関との積極的な連携を図り、柔軟な新規利用の受入れ調整や不安解消に向けて、体験利用の提案等利用者・家族に寄り添った支援に努めました。
- ・ 三次ブロック職員研究発表会への出場に向けて取り組み、デイサービス事業所においては、利用者の方の「排せ介助」や「帰宅願望」に関する困難事例をテーマに、その取り組みと経過をまとめ、施設内予選会にて発表を行いました。
- ・ 新型コロナウイルスやインフルエンザ対応には、常日頃から感染予防や健康チェックを徹底し、感染疑いのあるご利用者様には利用自粛をお願いするなどの対応、1 日 2 回の換気を怠らず感染予防に努め、事業所閉鎖することなく 1 年間稼働することが出来ました。職員家族の感染発症により、人員確保できない時期もありましたが、縮小営業を行うことで何とか対応できました。

■ 職員研修の開催

実施月	研修内容	参加人数
4月	入浴のアセスメント	7名
毎月	ジョブメドレーアカデミー動画	6名

■ 外部・施設研修会への参加状況

実施月日	研修内容	場所	参加人数
毎月	三和町連絡調整会議への出席	みわ総合福祉センター	1名
5月20日	外国人技能実習生受け入れ前 美和会職員研修会	集会室	4名
6月17日	感染予防について	集会室	4名
8月18日	三次ブロック職員研究発表会 美和会予選会	集会室	4名
9月16日	身体拘束の基礎知識	集会室	2名
10月21日	B C P感染症について 各部署の事故報告と対策	集会室	5名
11月25日	介護技術研修会（排泄介助）	デイサービスホール	3名
12月19日	A E Dを使用した救命救急を学ぶ	集会室	2名

■ リスク管理の取り組み

- ・事故発生時には、職員間で報告、連絡、相談を速やかに行い、迅速な対応に努めました。
- また、事故発生の原因を突き止め、再発防止策を職員全員で共有しました。

（４）各種行事開催状況

4月	誕生祝（個別） 花見ドライブ
5月	誕生祝（個別）
6月	誕生祝（個別）
7月	誕生祝（個別） ショッピング（パルパ）
8月	誕生祝（個別） 盆踊り（合同行事）
9月	誕生祝（個別）

10 月	誕生祝（個別） 運動会 ハロウィン
11 月	誕生祝（個別）
12 月	誕生祝（個別） クリスマス会
1 月	誕生祝（個別） 書初め 正月遊び
2 月	誕生祝（個別） 節分豆まき
3 月	誕生祝（個別）



（中学生の職場体験会）



（七夕飾り作品）



（クリスマス行事）



（お正月 装飾作品）



（買い物ドライブ）

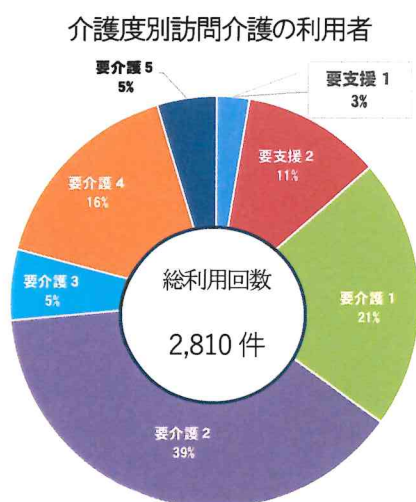
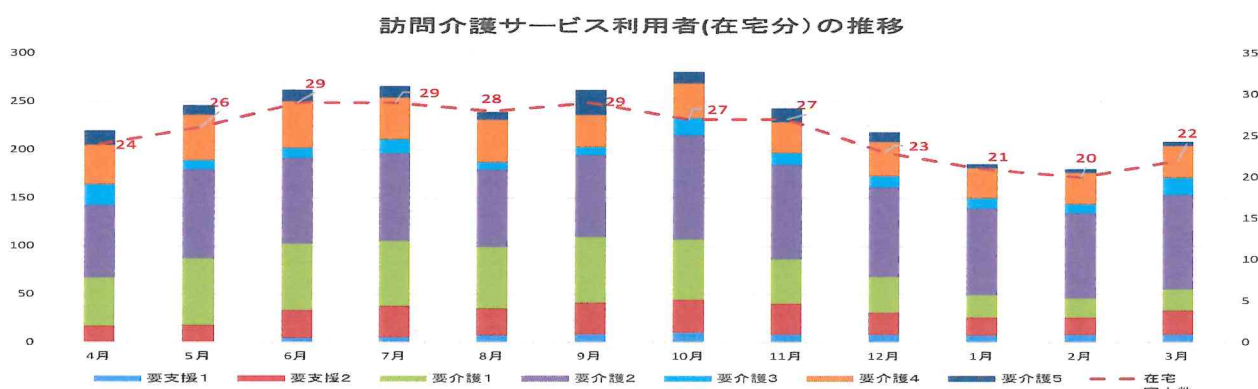
3 ヘルパーステーション スマイル

令和7年4月、三和町人口は2,365人、65歳以上は、1,248人、令和8年4月は、2,304人（△61人）、65歳以上 1,248人（±0人）です。令和7年度の訪問介護実利用人数は、25.4人/月平均になりました。

サービス提供責任者1名が10月後半から病欠で、自宅療養していましたがR8年2月に退職となる。一方、R7年11月には常勤ヘルパー1名入職、R8年2月にサービス提供責任者1名が入職しヘルパー事業所が継続できることになりました。その結果、少しずつ新規利用者の受け入れをして稼働率も上がる傾向になりました。

在宅3本柱であるヘルパー、デイサービス、ショートステイは、要介護状態になって在宅生活を維持するには欠かせない介護サービスです。三和町内や町外近隣の方には、継続してサービス提供を望まれています。ヘルパーも少数で高齢ではありますが、引き続き事業所の維持・継続に努めてまいります。

(1) 介護度別訪問介護の利用者状況



令和7年度の概要	
■ 実利用人数	
月平均	25.4人 (昨年度22.1人) ↑
総利用件数	2,810件 (昨年度2,723件) ↑
■ 利用者介護度	
要支援1～要介護2	73.6% (昨年度55.7%)
要介護3～要介護5	26.4% (昨年度44.3%)
■ 利用平均回数 (1人当たり)	
1月当たり	9.2回 / 人
■ 介護度別利用頻度 (1月利用者1人当たり)	
要支援①	7.0回
要支援②	4.8回
要介護①	8.9回
要介護②	10.4回
要介護③	4.1回
要介護④	17.5回
要介護⑤	10.9回

(2) サービス内容別利用人数及び利用回数 (令和7年3月分)

(単位: 回)

	身体介護	生活援助	身体・生活	予防給付	合計
訪問回数	26	23	118	33	200
利用割合	13.0%	11.5%	59.0%	16.5%	100%

(3) 活動報告（令和7年度運営目標に対する総括）

- ・ ヘルパー不足で、事業所をやむを得ず閉鎖を余儀なくされる状況でしたが、新規職員の入職と登録ヘルパーが一丸となり、訪問ができ事業所も維持・継続が出来ました。
- ・ 新規利用者の受入れに対応するため、限られたヘルパー人数の中で、常に訪問シフトの調整を行いながらサービス提供に努めました。
- ・ 感染予防対策の徹底を継続し、利用者の方への感染拡大防止に努めました。

■ ヘルパー研修の開催状況

実施月	研 修 内 容	参加人数
10月～12月	広島県高齢者虐待防止研修（オンデマンド）	8名

■ 職員研修会への参加状況

月日	研修内容	主催（講師）	参加人数
5月20日	外国人技能実習生受入れ前職員研修	森田施設長	0名（8名）
6月17日	感染症予防について	美和会感染委員会	1名（7名）
8月18日	三次ブロック研究発表会美和会予選会	美和会研修委員会	0名（8名）
9月16日	身体拘束の基礎知識	美和会身体拘束適正化委員会	0名（8名）
10月21日	各部署事故報告と対策について BCP感染症対策研修会	事故防止委員会 土井部長	0名（8名）
11月25日	介護技術研修（排泄編）	介護福祉士会	1名（8名）
12月19日	救急教室～AEDを使用した救命救急を学ぶ～	備北消防三和出張所	1名（8名）

（ ）内は、資料配布

4 喜楽園居宅介護支援事業所

利用者の方が在宅でその人らしく自立に向けた生活をしていただけるよう、利用者の心身の状況、置かれている環境や利用者及びその家族の希望等を考えて居宅サービスを計画し、かつ居宅サービスの提供が確保されるよう居宅サービス事業者等との連絡調整を図るとともに、その他便宜の提供に努めてまいりました。

一方、昨年は、施設入所や長期入院者の増加に併せ、ご家族の居住地へ引越しをされる方や、医療系の居宅介護支援事業所、小規模多機能施設を利用される方が増加傾向にあります。本事業所での新規利用契約者数は、令和6年度の延べ利用数 1,039 人でしたが、令和7年度は 985 人と減少しております。

今後も関係機関に新規利用者の紹介依頼を行うとともに、高齢者の認定申請代行から積極的に関わっていく姿勢で、新規利用者数アップを目指し、安定した居宅支援事業所の運営に努めてまいります。

(1) 居宅介護支援事業実績

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアプラン 作成件数	89	86	82	78	77	78	82	82	83	82	82	84	985 (82.0)
訪問調査	6	4	9	3	5	3	8	4	6	12	3	4	67 (5.5)

※カッコ内は月平均

(2) サービス別の提供計画回数（令和8年3月分実績）

(単位：件・回)

	件 居 宅 利 用 数	区 分	訪 問 介 護	訪 問 入 浴	訪 問 看 護	リ 訪 ハ ビ リ 問	通 所 介 護	リ 通 ハ ビ リ 所	貸 福 祉 用 具	生 活 介 護 所	老 短 期 療 養	病 短 期 療 養
介護 給付	84	自施設	13	0	0	0	32	0	0	16	0	0
		他施設	0	1	5	12	17	4	70	3	0	0
予防 給付	10	自施設	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		他施設	0	0	1	1	3	0	8	0	0	0

三和地区内では、美和会以外に在宅サービスを提供できる事業所が少なく、特にホームヘルプサービス（訪問介護）は町外事業者からの受け入れ調整が困難となっている。ヘルパーステーション スマイルでは、人材不足が深刻化する中で、新体制のもと今後増加が見込まれる。訪問介護ニーズにどのように対応していくかが大きな課題となっている。一方、通所介護においては、送迎範囲や送迎手段の縮小により受け入れが難しくなっている状況に加え、近隣事業所による町内への積極的な営業活動が増加している。こうした動きにより、町内の利用者が他事業所へ流出する可能性がこれまで以上に高まっており、地域内の通所介護利用者を安定的に確保することが急務となっている。地域内のサービス選択肢が限られる中で利用者が外部へ流れることは、地域の支援体制そのものを弱体化させる重大なリスクであり、早急な対応が求められている。

(3) 活動報告（令和7年度運営目標に対する総括）

令和7年度は、人口減少や介護サービス事業所の閉鎖・縮小が進む中で、必要な介護サービスの確保が一層困難となりました。特に、訪問介護や通所介護の受け入れ制限が続き、利用調整に時間を要するケースが増加しました。その結果、必要な支援が十分に受けられず、入院・入所へ移行するご利用者様が増え、年間の契約者数は54名減少しました。また、少ない年金での生活苦や借金問題など、経済的な困難を抱える方が増加し、生活全体を見据えた支援の必要性が高まりました。ご家族の支援力も低下しており、独居や高齢者のみ世帯では、急な状態変化への対応や見守り体制の強化が求められました。

重点目標について

① 新規利用者様の確保

地域からの相談対応と関係機関との連携を強化し、新規利用者の受け入れに努めました。

② 行政・医療・地域との連携強化

行政、医療機関、地域包括、民生委員等と連携し、在宅支援体制を維持しました。

③ 知識・資質の向上

研修参加と他事業所との情報共有を行い、部署内で伝達講習を実施しました。

④ 尊厳の保持と自立支援

ご利用者様の意向を尊重し、困難ケースにもチームで対応しながら自立支援を進めました。

⑤ 丁寧・迅速な対応と法人サービス活用

相談・調整を迅速に行い、必要に応じて当法人サービスの利用につなげました。

■ 他職種連携会議への参加状況

開催月	会議内容	参加人数
毎月	三和町介護支援について考える会	ケアマネ3名
毎月	主任ケアマネ部会	主任ケアマネ1名
随時	園内各委員会への参加	1名

※新型コロナウイルス感染症により延期や中止の場合は、文書・書面等により行っております。

■ 外部研修会への参加状況

月 日	研修内容	主催	参加人数
6月26日	令和7年度 総会※オンライン	広島県介護支援専門員協会 三次ブロック	1名
6月26日	ケアマネのための ICT の活用術※オンライン	三次市介護支援専門員協会	1名
7月16日	BCP 机上訓練を通じて地域の役割を理解し 地域との連携・役割分担を考える	広島県介護支援専門員協会 三次ブロック	1名
7月19日	尊厳ある生き方・逝き方とは	三次・庄原地区多職種連携 会議	1名
7月29日	令和7年度 管理者・リーダーとしての人材育成 ～コミュニケーションスキル コーチング等の実践へ～※オンライン	広島県介護支援専門員協会	1名
8月7日	令和7年度ケアマネジメント向上研修 ケアマネジメントから考える意思決定支援※オンライン	広島県介護支援専門員協会	2名
9月12日	権利擁護とケアマネジメント※オンライン	広島県介護支援専門員協会 三次ブロック	2名
9月19日	令和7年度市立三次中央病院看護アクト研修③ ACP を自分ごとで考えてみませんか	市立三次中央病院看護部	1名
10月17日	令和7年度居宅介護支援事業所・包括支援センター 合同研修会 地域包括ケアの実現に向けて	三次市地域包括支援センター	2名
11月28日	介護保険とケアマネジャーからみる障害福祉の制度と サービス※オンライン	広島県介護支援専門員協会 三次ブロック	1名
1月23日	ケアマネ交流会『つながる、学ぶ、明日に活かす』	三次市介護支援専門員協会	1名
2月13日	令和7年度実務研修実習指導者養成講座 ※オンライン	広島県介護支援専門員協会	1名

5 給食提供事業（栄養課）活動報告

（1）行事食実施状況

4月	誕生会	お楽しみデザート（養護）		
5月	誕生会	お楽しみクッキング（養護）	こどもの日メニュー	母の日メニュー
6月	誕生会	お楽しみデザート（養護）	父の日メニュー	
7月	誕生会	お楽しみデザート（養護）	七夕メニュー	土用の丑の日メニュー
8月	誕生会	お楽しみデザート（養護）		
9月	誕生会	敬老お祝い膳		
10月	誕生会			
11月	誕生会			
12月	誕生会	クリスマスメニュー		
1月	誕生会	おせち		
2月	誕生会	節分メニュー		
3月	誕生会	ひな祭りメニュー		



（1月 おせち料理）



（4月 お楽しみデザート パフェ）



（5月 お楽しみクッキングの様子）



(5月 お楽しみクッキングの様子)



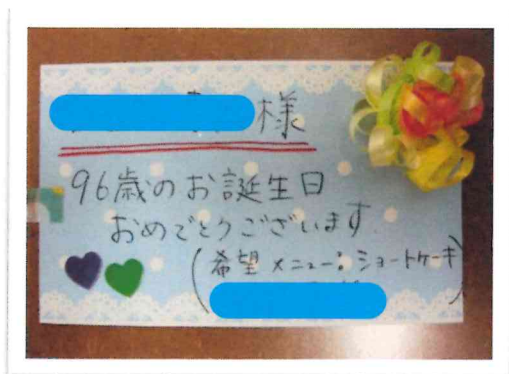
(5月 お楽しみクッキング 介護食の黒糖まんじゅう)

常食の黒糖まんじゅう)



(8月 お楽しみデザート フルーツポンチ)

(9月 敬老お祝い膳)



(お誕生日カード)



(特養 お誕生日デザート)

(2) 栄養課加算取得状況

(単位：人)

利用月	経口維持加算 I 400単位/月	療養食加算 6単位/食	デイ栄養改善加算 月2回200単位/回
4月	18	18	1
5月	42	17	1
6月	42	17	1
7月	41	16	1
8月	39	15	1
9月	39	16	1
10月	39	16	1
11月	37	16	1
12月	30	15	1
1月	27	14	1
2月	25	14	0
3月	25	15	0
合計	404	189	10

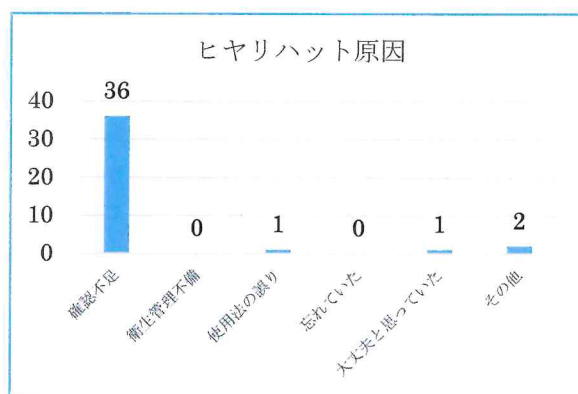
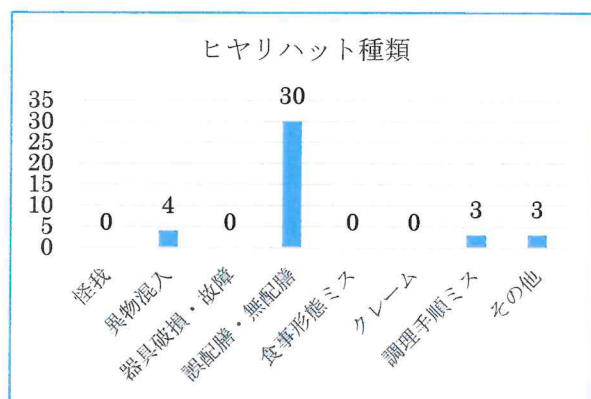
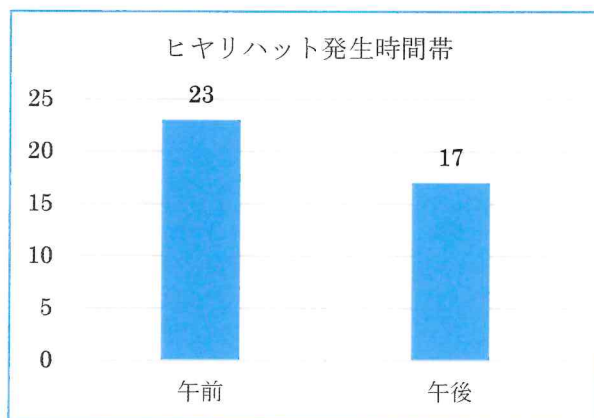
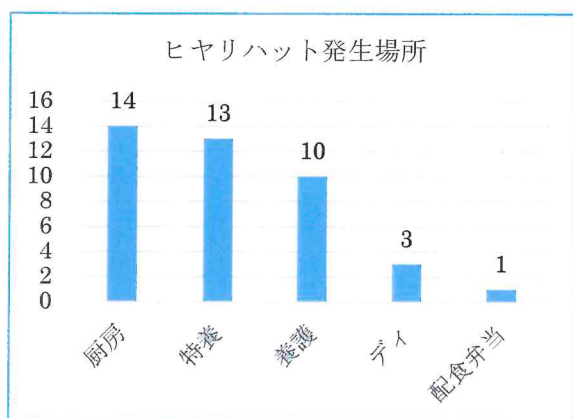
(3) 業務改善の取り組み状況

<ヒヤリハット>

- ・ヒヤリハットの集計を行い、朝礼や内部研修で報告と原因の解決に向け、情報共有・周知徹底に努めました。
- ・種類については、誤配膳・無配膳が年間を通してワースト1で、全体の75%を占めました。

(昨年度 55.8%)

- ・令和7年度も、再加熱の運転開始確認と報告を徹底するように努めていましたが、再加熱カートの運転スイッチの入れ忘れミスが1件発生しました。報告者が固定化され、「確認・報告」の作業が全体に浸透していなかった事が原因と考えられます。



(4) 栄養ケアマネジメントの取り組み

- ・居宅支援事業所との連携でご利用者の健康状態や噛み合わせに留意した配食サービスを実施しました。
 - ・デイサービスご利用者様においては、急な食事内容の変更にも柔軟に対応をさせていただきました。
- また、低栄養の恐れのあるご利用者様には、栄養改善の取り組みを行いました。

(5) 活動報告（令和7年度重点目標に対する総括）

- ・内部研修会への参加状況は、開催回数も多く知識向上の機会に恵まれましたが、参加者が固定化され、職員全員での積極的な参加が課題となりました。
- ・今年度の外部研修会への参加状況は、栄養士・調理員共に参加機会を設ける事が出来ませんでした。
1人1回は、外部研修会（オンライン含む）へ参加できる環境作りが来年度への課題として残りました。

<内部研修会への参加状況>

(単位：人)

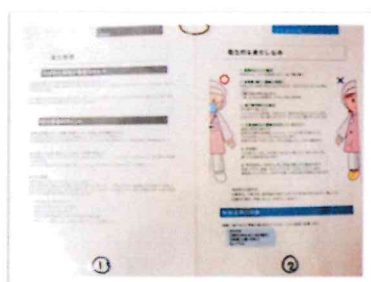
月 日	研 修 名	参加人数
5月20日	外国人技能実習生受け入れ前職員研修会	4
6月17日	感染症予防について	3
8月18日	三次ブロック研究発表会 美和会予選会	3
9月16日	身体拘束の基礎知識	2
10月21日	各部署事故報告と対策について BCP感染症対策研修会	2
11月25日	介護技術研修会（排泄編）	0
12月19日	AED講習会	1
随 時	美和会各委員会会議	各1

(ア) イベント食

- ・養護の月1回のお楽しみデザートでは、担当調理員が季節感を取り入れたメニューを考え、盛付にもこだわった普段とは違うデザートの提供に努めました。ご利用者や介護職員にも大変好評で、担当調理員のモチベーションアップにも繋がりました。
- ・5月には、今年度初の試みとして、養護ご利用者と養護・栄養課合同でお楽しみクッキングを実施し、生地から手作りの黒糖まんじゅうを作りました。参加されたご利用者からは、「もっと作りたいかったよ」「まんじゅうがこんな簡単に作れるんじゃね」などのお声をいただき、良い交流の場となりました。
- ・9月から職員体制が変わった事もあり、9月以降の養護・デイサービスのお楽しみデザートや、お楽しみクッキングの実施が出来ませんでした。来年度は更に、食を通してご利用者と調理職員の交流に繋がる取り組みを実施していきたいと思っています。

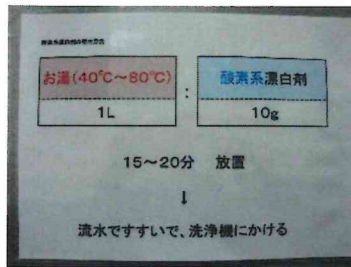
(イ) 各種マニュアルの整備・作業の標準化

- ・昨年度に引き続き、スタッフの意識付けと衛生管理の標準化を図る目的で、食材委託先のナリコマエンタープライズの衛生管理マニュアルを参考資料にして、朝礼時1日1ページずつスタッフ全員で勉強を行う時間を設け、安心安全な食事提供に努めました。



(衛生管理マニュアルの一部)

- ・洗剤類等、これまでは使用量がアバウトであった物を標準化する為に、マニュアルを作成し使用場所に掲示することで、作業の標準化を図ることができました。



消毒系漂白剤 使用量表

お湯	6L	9L	12L	15L	18L	21L	24L
漂白剤	2杯 (60g)	3杯 (90g)	4杯 (120g)	5杯 (150g)	6杯 (180g)	7杯 (210g)	8杯 (240g)

消毒系漂白剤の使用法

<使えるもの>	<使えないもの>
○ プラスチック製品 ○ 木・竹製品 ○ ガラス製品 ○ 陶磁器 ○ 白物、色物、柄物のせんい製品	× アルミ、銅、真ちゅう、プリキ、銀製品 × 漆器 × 毛、絹、ウール、ナイロンのせんい製品 × 合金金属材料でできたもの

<使用上の注意>

作業時には必ず保護メガネを装着する。
 消毒系漂白剤は刺激性の強い薬剤で、皮膚や粘膜に接触すると痛みや炎症の原因となります。
 使用後は必ず手を洗ってください。
 漂白剤は強い臭いがあります。換気を行い、臭いを軽減してください。

(食器漂白マニュアル)

- ・食材の在庫管理が適切に行われておらず、食材の廃棄処分が課題となっており、食材管理の見直しを行いました。冷凍品は必要数のみ当日解凍とし、無駄な解凍を防止するようにルール化しました。

また、炊飯早見表を作成し、1日の米飯使用量を明確にする事で、無駄な廃棄処分の防止に努めました。

(炊飯早見表)

米量	水	時間
100g	150g	10分
150g	225g	15分
200g	300g	20分
250g	375g	25分
300g	450g	30分
350g	525g	35分
400g	600g	40分
450g	675g	45分
500g	750g	50分
550g	825g	55分
600g	900g	60分
650g	975g	65分
700g	1050g	70分
750g	1125g	75分
800g	1200g	80分
850g	1275g	85分
900g	1350g	90分
950g	1425g	95分
1000g	1500g	100分